



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 俊爾

問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 伊藤 博信

TEL 03-3746-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 79,471 | △4.5 | 717 | △38.8 | 2,286 | 7.8 | 1,814 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 83,212 | △4.6 | 1,171 | △54.3 | 2,119 | △36.5 | △2,562 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,527百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △15,269百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 10.77 | — |
| 23年3月期第1四半期 | △13.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 535,395 | 297,695 | 53.8 |
| 23年3月期 | 593,023 | 344,658 | 56.4 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 287,805百万円 23年3月期 334,310百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|-----|--------|------|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 162,700 | △2.5 | △2,000 | — | △1,400 | — | △1,800 | — | △11.36 |
| 通期 | 342,000 | △0.2 | 8,200 | 6.4 | 9,100 | △1.3 | 4,600 | — | 29.61 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 190,434,968 株 | 23年3月期 | 190,434,968 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 38,224,452 株 | 23年3月期 | 453,652 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 168,398,041 株 | 23年3月期1Q | 190,016,345 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (株)TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済ですが、東日本大震災後に落ち込んだ生産活動は持ち直しつつあり、輸出も増加に転じています。また、国内需要についても、家計や企業のマインドとともに、改善へと向かう動きも見られます。

こうした中、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は794億7千1百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は7億1千7百万円（同38.8%減）、経常利益は22億8千6百万円（同7.8%増）、四半期純利益は18億1千4百万円（同43億7千6百万円の改善）となりました。

<放送事業セグメント>

テレビの放送事業収入のうち、当第1四半期連結累計期間のタイムセールスは、210億2千1百万円、前年の「2010FIFAワールドカップ」に匹敵する規模の大型単発番組がなかったこともあり、前年同期比4.5%減となりました。一方、スポットセールスは、東日本大震災の影響を受け、188億8千万円、前年同期比9.9%減、在京5局間のスポット売上シェアは19.5%（前年同期比0.3ポイント減）でした。

編成面では、TBSテレビの視聴率は、全日帯が6.7%（前年同期比±0ポイント）、ゴールデン帯10.2%（同0.6ポイント増）、プライム帯10.3%（同0.4ポイント増）とゴールデン帯、プライム帯で前年同期の実績を上回りました。

個別の番組に目を転じますと、TBS開局60周年記念を掲げた日曜劇場「JIN-仁-」が最終回2時間スペシャルで視聴率26.1%、平均でも21.3%を記録し、前回シリーズの平均19.0%を上回りました。また、6月に放送されたTBS開局60周年記念番組「人間とは何か!? わたしと地球の38億年物語～アース・コード～」も好評を博しました。

ラジオ部門では、株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズが4月及び6月のビデオリサーチ首都圏ラジオ聴取率調査において平均個人聴取率単独トップを獲得し、60期連続トップを記録しました。これにより10年間、首都圏ラジオでの首位を守ったこととなります。営業面では、タイムセールス14億9千万円（前年同期比4.3%減）、スポットセールス5億9千7百万円（同0.6%増）でした。

この結果、放送事業の売上高は464億5千8百万円（前年同期比6.6%減）、営業損失8億5千1百万円となりました。

<映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業では、昨年10月に国立新美術館で開幕した「没後120年ゴッホ展」が4月に名古屋を巡回し終了しました。東京、福岡、名古屋3会場合わせて入場者数が118万人を超えました。また、6月公開の映画「もしドラーもし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」が7月27日現在で、興行収入8億8千万円、観客動員数72万人となっております。

このほか、前年度の公開映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」のDVD・ブルーレイディスクが6月に発売され、セルの初回出荷合計で182,500セットと好評を得ております。

この結果、映像・文化事業の売上高は292億6百万円（前年同期比0.4%減）、営業損失は1億4千万円となりました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業は、「赤坂サカス」エリアにおいて、各種興行や様々なイベントを通じて、文化・エンタテインメントの発信地としての地位の確保に力を注いでおります。2008年3月のオープン以来、サカス地区への累計来場者数は2,400万人を上回りました。当第1四半期連結累計期間につきましては、震災の影響を受け、商業施設の売上などが伸び悩みました。

この結果、不動産事業の売上高は38億6百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は17億1千万円（前年同期比10.4%減）となりました。

このほか、BSデジタル放送は、持分法適用会社の株式会社BS-TBSが、震災の影響を受けながらも、増収増益で第1四半期を終えました。なお、当社は、既存株主からの株式の買取により、7月1日をもって株式会社BS-TBSの発行済株式の51.15%を獲得し、子会社としております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ576億2千7百万円減少し、5,353億9千5百万円となりました。楽天株式会社からの自己株式の買取が完了したことにより預け金が488億7千5百万円減少したこと、有形固定資産が減価償却等により17億9千6百万円減少したことなどによります。

負債合計は106億6千4百万円減少し、2,377億円となりました。短期借入金が返済等により37億5千8百万円減少したこと、取引高の減少に伴い支払手形及び買掛金が28億2千6百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、469億6千3百万円減少し、2,976億9千5百万円となりました。楽天株式会社からの自己株式の買取等により自己株式が488億7千5百万円増加したこと、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が12億4千3百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は53.8%、1株当たり純資産は1,890円84銭となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、東日本大震災の影響はあったものの、概ね予想通りに推移しました。また、平成23年7月1日付け株式会社B S - T B Sの連結子会社化による影響も業績予想に織り込みましたが、その影響は軽微であるため、平成23年5月12日公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 71,510 | 22,126 |
| 受取手形及び売掛金 | 33,496 | 29,797 |
| 有価証券 | — | 45,999 |
| 商品及び製品 | 7,006 | 7,184 |
| 番組及び仕掛品 | 6,305 | 6,809 |
| 原材料及び貯蔵品 | 778 | 856 |
| 前払費用 | 8,890 | 8,913 |
| 繰延税金資産 | 1,946 | 1,575 |
| 預け金 | 48,875 | — |
| その他 | 6,212 | 5,760 |
| 貸倒引当金 | △97 | △115 |
| 流動資産合計 | 184,924 | 128,907 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 190,577 | 190,624 |
| 減価償却累計額 | △75,535 | △76,670 |
| 建物及び構築物（純額） | 115,041 | 113,954 |
| 機械装置及び運搬具 | 85,651 | 85,937 |
| 減価償却累計額 | △74,758 | △75,575 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 10,892 | 10,362 |
| 工具、器具及び備品 | 21,076 | 21,431 |
| 減価償却累計額 | △18,504 | △18,894 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 2,571 | 2,536 |
| 土地 | 84,720 | 84,720 |
| リース資産 | 6,610 | 6,680 |
| 減価償却累計額 | △2,933 | △3,068 |
| リース資産（純額） | 3,677 | 3,611 |
| 建設仮勘定 | 3,322 | 3,245 |
| 有形固定資産合計 | 220,227 | 218,431 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,796 | 4,690 |
| のれん | 25,571 | 25,170 |
| リース資産 | 441 | 425 |
| その他 | 2,095 | 2,036 |
| 無形固定資産合計 | 32,905 | 32,322 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 139,958 | 140,666 |
| 長期貸付金 | 338 | 374 |
| 繰延税金資産 | 2,370 | 2,499 |
| 長期前払費用 | 1,649 | 1,986 |
| その他 | 11,216 | 10,794 |
| 貸倒引当金 | △567 | △585 |
| 投資その他の資産合計 | 154,965 | 155,734 |
| 固定資産合計 | 408,098 | 406,488 |
| 資産合計 | 593,023 | 535,395 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 32,548 | 29,722 |
| 短期借入金 | 36,722 | 32,963 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,750 | 1,750 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | — |
| 未払金 | 9,886 | 8,927 |
| 未払法人税等 | 2,757 | 1,010 |
| 未払消費税等 | 764 | 640 |
| 未払費用 | 6,052 | 3,115 |
| 役員賞与引当金 | 114 | 23 |
| その他の引当金 | 885 | 464 |
| その他 | 5,577 | 8,058 |
| 流動負債合計 | 117,058 | 86,674 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 50,000 |
| 長期借入金 | 58,750 | 58,750 |
| 退職給付引当金 | 12,573 | 12,739 |
| リース債務 | 3,064 | 2,858 |
| 繰延税金負債 | 10,406 | 10,187 |
| その他 | 16,510 | 16,490 |
| 固定負債合計 | 131,305 | 151,025 |
| 負債合計 | 248,364 | 237,700 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 54,986 | 54,986 |
| 資本剰余金 | 60,254 | 60,254 |
| 利益剰余金 | 211,948 | 213,192 |
| 自己株式 | △96 | △48,971 |
| 株主資本合計 | 327,094 | 279,462 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,399 | 9,523 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,002 | △987 |
| 為替換算調整勘定 | △180 | △193 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,216 | 8,342 |
| 少数株主持分 | 10,348 | 9,890 |
| 純資産合計 | 344,658 | 297,695 |
| 負債純資産合計 | 593,023 | 535,395 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 83,212 | 79,471 |
| 売上原価 | 59,889 | 58,366 |
| 売上総利益 | 23,323 | 21,105 |
| 販売費及び一般管理費 | 22,152 | 20,388 |
| 営業利益 | 1,171 | 717 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 28 | 15 |
| 受取配当金 | 1,274 | 1,908 |
| 持分法による投資利益 | 24 | 43 |
| その他 | 239 | 342 |
| 営業外収益合計 | 1,567 | 2,309 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 434 | 387 |
| 固定資産除却損 | 50 | 101 |
| その他 | 134 | 251 |
| 営業外費用合計 | 619 | 740 |
| 経常利益 | 2,119 | 2,286 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 58 | — |
| 特別利益合計 | 58 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 6,865 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 516 | — |
| 退職給付制度改定損 | 38 | — |
| 特別損失合計 | 7,420 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △5,241 | 2,286 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 590 | 457 |
| 法人税等調整額 | △2,502 | 428 |
| 法人税等合計 | △1,912 | 886 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △3,329 | 1,399 |
| 少数株主損失(△) | △767 | △414 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △2,562 | 1,814 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △3,329 | 1,399 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △11,598 | 1,124 |
| 繰延ヘッジ損益 | △318 | 15 |
| 為替換算調整勘定 | △22 | △11 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △11,939 | 1,127 |
| 四半期包括利益 | △15,269 | 2,527 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △14,501 | 2,940 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △767 | △413 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注2) |
|-----------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 放送 | 映像・文 化 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 49,752 | 29,335 | 4,124 | 83,212 | — | 83,212 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 359 | 1,035 | 1,205 | 2,600 | △2,600 | — |
| 計 | 50,111 | 30,371 | 5,330 | 85,813 | △2,600 | 83,212 |
| セグメント利益又は損失(△) | 808 | △1,541 | 1,907 | 1,175 | △3 | 1,171 |

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注2) |
|-----------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 放送 | 映像・文 化 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 46,458 | 29,206 | 3,806 | 79,471 | — | 79,471 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 322 | 1,061 | 1,756 | 3,141 | △3,141 | — |
| 計 | 46,780 | 30,268 | 5,563 | 82,612 | △3,141 | 79,471 |
| セグメント利益又は損失(△) | △851 | △140 | 1,710 | 718 | △1 | 717 |

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月10日に楽天株式会社から488億7,528万5,800円で自己株式を37,770,700株を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取を含めて自己株式が488億7千5百万円、37,770,800株増加しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(株)TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

| 科 目 | 前第1四半期 (22.4.1~22.6.30) | 当第1四半期 (23.4.1~23.6.30) | 増 減 | | 前事業年度 (22.4.1~23.3.31) |
|----------|----------------------------|----------------------------|--------|--------|---------------------------|
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 | 増減率 | 金 額 |
| テレビ | 46,087 | 42,651 | △3,435 | △7.5% | 180,614 |
| タイム・番組制作 | 22,003 | 21,021 | △981 | △4.5% | 86,553 |
| スポット | 20,955 | 18,880 | △2,075 | △9.9% | 82,160 |
| その他 | 3,127 | 2,749 | △378 | △12.1% | 11,899 |
| 事業 | 5,709 | 6,095 | 385 | 6.8% | 27,633 |
| 不動産 | 722 | 722 | 0 | 0.1% | 2,902 |
| 合計 | 52,518 | 49,470 | △3,048 | △5.8% | 211,150 |